



あいづやいち  
會津八一（1881～1956）は書家、歌人、東洋美術史学者であり、早稲田大学の歴史考古学の基礎を築いた人物です。八一は早稲田大学で東洋美術史の講義を受け持った際、実物資料を重要視する「実学」を主張し、学生の教育・研究用に実物資料しゅうしゅうを蒐集しました。本企画展では、八一が生涯を通して重視した「実学」を、八一が蒐集した各時期の日本・朝鮮・中国瓦塼がせんの展示を通してご紹介します。



## 講演会

### 會津八一の蒐集品

めいきでいぞう  
— 明器泥像から拓本まで —

- 講師** 下野 玲子 氏（會津八一記念博物館主任研究員）  
**日時** 3月12日(日) 午後2時～3時  
**会場** 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
3階レクチャールーム1  
**定員** 100名（先着順）  
**費用** 無料  
**申込** 3月1日(水)午前9時から電話・✉または直接下記へ（✉の場合は、本文に受講者の氏名及び電話番号を記載）

## WORKSHOP

### 世界にひとつだけの オリジナル勾玉づくり

からせき  
滑石というやわらかい石を紙やすりで削って、自分だけのオリジナル勾玉をつくれます。

- 日時** 3月25日(土)・26日(日) 午前10時～、午後2時～  
※体験時間の目安は60分。  
**対象** どなたでも  
**定員** 各10名（先着順）  
**費用** 白200円、ピンク・黒350円（勾玉製作キット代金）  
**用意** 汚れてもよい服装  
**申込** 3月12日(日)午前9時から電話・FAXまたは直接下記へ



白色の勾玉は蛍光ペンで色付けができるよ